

会

報

日本病理学会

第 163 号

平成 13 年 (2001 年) 5 月刊

### 1. 研究会、ワークショップ助成のお知らせ

研究推進委員会は、春期、秋期総会では時間的制約などから果たせないような学術的課題について、全国規模での研究会、ワークショップなどを開催すること、また会員によってこのような企画がなされた時に後援、助成することを一つの任務としており、例年会員からの提案を募集しています。

本年度分として学会会員が主催し、学会員を主な対象とする、病理学領域の研究を中心とする課題に関する研究会、ワークショップについて学会からの助成の希望がありましたら、下記にお申し込みください。なお、支部単位で行われる研修会など病理業務に直結する講習会、研修会は本委員会の助成対象とはなりませんので、ご注意ください。

#### 記

1. 助成対象：学会会員が主催し、学会員を主な対象とする、病理学領域の研究を中心とする課題に関する研究会、ワークショップ等
2. 助成件数：年間数件
3. 助成金額：1 件 10 万円以内
4. 審査方法：研究推進委員会の審査をもとに、常任理事会で決定。
5. 応募、問い合わせ先：社団法人日本病理学会事務局 (TEL. 03-5684-6886, FAX 03-5684-6936, E-mail: jsp@ma.kcom.ne.jp) もしくは、研究推進委員長 森茂郎 (東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野 (旧病理学研究部), TEL 03-5449-5299, FAX 03-5449-5418, E-mail: mori@ims.u-tokyo.ac.jp)
6. 2001 年度分締切り：2001 年 7 月 1 日

### 2. 技術講習会 分子病理学の基礎技術-1

「病理検体をもちいた遺伝子クローニングの技術」受講者募集のお知らせ

日本病理学会研究推進委員会は、会員からの要請に応じて、このたび上記の標題のもとに、分子病理学領域の技術講習会を企画いたしました。本技術講習会は日本病理学会

の事業として、病理学領域における研究活動推進活動の一環として行うもので、内容と担当を少しずつ変えながら今後 5 年次にわたって継続する予定です。下記の要領で参加者を募集いたしますので、会員諸氏にはふるってご応募されますよう、ご案内申しあげます。

#### 記

1. 日時：2001 年 8 月 22, 23, 24 日。
2. 場所：東京大学医科学研究所アムジェンホール。
3. プログラム：病理検体を主な素材とする分子生物学的技術の、講義と実習・見学 (講義 13 コマ, 実習 4 コース。詳細は以下にお問い合わせください)
4. モデレーター：渡邊俊樹, 黒田雅彦 (研究推進委員)
5. 講義, 実習担当者：研究推進委員および学会員約 12 名。
6. 募集人員：約 20 名
7. 参加費：日本病理学会会員：3 万円；非会員：4 万円
8. 応募, 問い合わせ, 決定：
  - (1) 受講希望者は、受講を希望するむねの手紙と ① 氏名, ② 所属, ③ 会員, 非会員の有無, ④ 連絡先住所, ⑤ E-mail, もしくは FAX 番号を、以下の方法でお申込み下さい。  
 応募, 問い合わせ先：社団法人日本病理学会事務局 (TEL. 03-5684-6886, FAX 03-5684-6936, E-mail: jsp@ma.kcom.ne.jp) もしくは、研究推進委員長 森茂郎 (東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野 (旧病理学研究部), TEL 03-5449-5299, FAX 03-5449-5418, E-mail: mori@ims.u-tokyo.ac.jp)
  - (2) 学会員は先着順に決定します。非会員は 7 月 1 日段階での空き分について受け入れます。
9. 宿舎はご自分で確保お願いいたします。
10. プログラムの詳細は病理学会ホームページ (<http://jsp.umin.ac.jp/>) に掲載予定です。

### 3. 理事会、学術評議員会及び総会

平成 13 年 4 月 4 日 (第 90 回春期総会の前日) に東京ビッ

グサイトにて理事会が開催され、翌5日(学術集会初日)には同会場にて学術評議員会、6日には総会が開催された。

これらの理事会、学術評議員会及び総会では、理事長報告、各種委員長報告が行われた。協議事項としては、第48回(平成14年)秋期特別学術集会の主催機関の決定、平成12年度事業報告及び収支決算並びに平成13年度事業計画(追加)、倫理委員会の設置の承認、名誉会員及び新学術評議員の推薦などが検討され、いずれも原案どおり承認された。

また、総会の席上で、平成12年度学術奨励賞の授与が行われた。なお、選挙制度の改善策については、さらに検討を行うことになった。

#### 4. 学術集会(略称学会総会)

##### (1) 第90回春期総会

慶応義塾大学医学部病理学教室を世話機関とし、秦 順一会長、岡田保則副会長のもとで、平成13年4月5日(木)～7(土)の3日間、東京ビッグサイトにて開催された。

宿題報告は、青笹克之教授(大阪大学)による「慢性炎症を基盤に発生する悪性リンパ腫」、高橋雅英教授(名古屋大学)による「RET 癌原遺伝子の病理学」、名倉 宏教授(東北大学)による「消化管粘膜における生体防御機構と粘膜障害」の3題であった。一般演題は、1,133題が発表された。

また、日英病理学会合同シンポジウムにおいて、英国病理学会会員から3講演が行われた。

このほか、公開シンポジウム1件6題(第1日)、公開フォーラム(第3日)、Talk in(第2日)、ランチョンセミナー10件(第1日～第3日)及びワークショップ51件(第1日～第3日)の発表と討議が行われた。病理診断講習会(臓器別病理診断講習会7件35題、系統的病理診断講習会2件8題)(第1日～第3日)も開かれた。

##### (2) 総会日程

今後予定されている総会は、以下のとおりである。

##### 1) 第47回秋期特別総会

世話機関：順天堂大学医学部

代表世話人：白井俊一教授

会 期：平成13年11月27日(火)～28日(水)

会 場：東京・九段会館

##### 2) 第91回総会

会 長：森 茂郎教授

東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野部門

会 期：平成14年3月26日(火)～28(木)

会 場：パシフィコ横浜

##### 3) 第48回秋期特別総会

世話機関：岡山大学医学部

代表世話人：赤木忠厚教授

会 期：平成14年11月14日(木)～15日(金)

会 場：未定

##### 4) 第92回総会

会 長：恒吉正澄教授

九州大学大学院医学研究院病理病態学教室

会 期：平成15年4月23日(水)～25日(金)

会 場：福岡国際会議場

#### 5. 理事長報告

- (1) 日本病理剖検輯報第42輯の発行契約は、社会福祉法人仁至会と前年度と同内容で行った。
- (2) 一般会員のうち大学院生及び初期研修医が平成13年度会費を納入する際は、その身分の証明として指導者である学術評議員の署名を求めることにした。
- (3) 内保連の委員を町並陸生委員から根本則道氏に交代した。
- (4) 悪性軟部腫瘍取扱い規約作成委員に橋本 洋, 広瀬隆則, 岩崎 宏, 恒吉正澄の4氏を選んだ。
- (5) 科学技術振興事業団より、本学会に科学技術文献の電子化のため、「学会誌予稿集全文データ利用許諾」要請があった。検討の結果、これを受けることとした。
- (6) 1月25日に細胞診の精度管理について協議するため、日本臨床細胞学会との第1回目の話し合いを行った。今後も適宜合同会議を開くことになった。
- (7) 平成13年2月1日発効の医師賠償責任保険契約者は、374名となった。
- (8) 東京都病院協会会長より、厚生省の「リスクマネジメントスタンダードマニュアル作成指針」に含まれている「診療に関する警察への届出に対する見解(案)」について、本学会の意見を表明するよう依頼があったので、小池盛雄常任理事を中心に対応を協議している。
- (9) 日本病理学会に倫理委員会を設置した。
- (10) 小池選挙制度検討委員長より、「役員選挙制度に関する改正案」の答申を受けた。同案を基に検討を行い、選挙制度の改定案を作成した。
- (11) 常置委員会委員のうち学術評議員から選出する平成13年度委員は、選挙及び協議により決定した。
- (12) 本学会定款施行細則に本学会の定期刊行物として「診断病理」を加えることにした。
- (13) 第48回(平成14年)秋期特別総会世話機関に岡山大学医学部(赤木忠厚教授)を推薦した。
- (14) 本学会から日本医師会に対して現行の社会保険診

療報酬での病理組織顕微鏡検査の診療報酬に関する疑義等の照会を行った。

## 6. 各種委員会の活動状況

理事長及び各委員長から、以下のとおり報告があった。

### (1) 企画広報・財務合同委員会

- 1) 日本病理学会ホームページ (JSP) のリニューアルを進めている。
- 2) 平成 12 年度事業報告及び収支決算 (平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日) を承認した。なお、同決算案は、日程の関係から仮決算であり、数値が変わり得ること及び監事による監査は後日となっていることを了承した。
- 3) 平成 13 年度追加事業として、会員名簿の発行、会費等の口座自動落とし、会員の海外病理学会参加支援等の計画を承認した。

### (2) 学術委員会

- 1) 第 47 回日本病理学会秋期特別総会 (平成 13 年 11 月) における A 演説を 10 題、B 演説を 1 題を選考した。
- 2) 学術奨励賞選考委員会では、学術奨励賞受賞候補者として 7 件を選考した。

### (3) 研究推進委員会

平成 13 年 8 月 22 日～23 日に委員会主催の技術講習会の募集を会報で行うことにした。

### (4) 編集委員会

- 1) 学会誌 (和文) の掲載内容について、検討を行っている。
- 2) Pathology International (PI) 関係では、刊行委員、常任刊行委員を大幅に変えて選考した。PI の昨年度の投稿数は 242 件であり、今までで最高となった。滞り無く発行されている。
- 3) 剖検輯報発行新システムの構築は、順調に進んでいる。新たな仕様による病理剖検情報システムプログラム開発の応募は 3 社であったが、審査の結果、ユニバーサル・アカデミー・プレス社を選考した。

### (5) 認定病理医制度運営委員会

- 1) 平成 13 年度本委員会委員のうち学術評議員委員会からの改選委員は、選挙の結果、橋本 洋、井藤久雄、黒田 誠、森永正二郎の 4 氏に決まった。
- 2) 平成 13 年度実務委員会委員の改選を行った。新委員は以下のとおり。
  - ① 認定病理医試験委員；広瀬隆則，松谷章司，向井満起男
  - ② 認定病理医資格審査委員；黒田 誠 (運営委員)，岩崎 宏，水口国雄，本山悌一

- ③ 認定病理医施設審査委員；石黒信吾，加藤良平，水無瀬昂，佐野寿昭

- 3) 平成 13 年度認定病院 (140 施設) 及び登録施設 (88 施設) の更新審査を行った結果、認定病院 5 施設を除き、すべて更新した。この 5 施設も再申請により登録施設となれる。

- 4) 今後の委員会等の行事日程を決めた。
- 5) 認定出願の資格として、法医学での研修期間は 2 年 (法医学専攻の大学院終了者) までを充当できることにした。
- 6) 「学会認定医制協議会」は、「専門医認定制協議会」と改称した。日本病理学会では当分の間、「認定医」を「専門医」と読み替えることになった。

### (6) 医療業務委員会

- 1) コンサルテーション：昨年度は 345 件の利用があり、昨年より 70 件増えた。
- 2) 社会保険：日本医師会あてに保険点数に関し疑義照会を行った。なお、同会の疑義委員会 (25 名の委員) には、本学会から選ばれていないので委員として加わることができるよう要請する。
- 3) 精度管理：アンケートを今月中に実施する。また、細胞診の精度管理については、日本臨床細胞学会と共同して取り組むことにしている。
- 4) 剖検・病理技術：① 癌取扱い規約は、20 数編が発行されているが分類基準・用語 (略号)・記述内容などが不揃いで、病理医の混乱を招いている。統一した用語等の使用がなされるよう関係学会に要請してきていた。このことを踏まえて、4 月 6 日に本学会から出ている各々の規約作成委員の代表による会合を計画している。

② 各機関でのパラフィンブロックの保管年数について、永久保存が適当か本学会としても検討する。

- 5) 遠隔診断・病理情報：各支部での遠隔診断についての実態調査を行う。

### (7) 認定口腔病理医制度運営委員会

- 1) 平成 13 年度本委員会委員のうち学術評議員委員会からの改選委員は、選挙の結果、伊集院直邦、立川哲彦、山本浩嗣の 3 氏に決まった。
- 2) 平成 13 年度実務委員会委員の改選を行った。新委員は以下のとおり。
  - ・認定口腔病理医試験委員；立川哲彦 (委員長)，伊集院直邦，山本浩嗣，田中陽一，岡田憲彦

### (8) 教育委員会

第 89 回 (平成 12 年) 総会でのシンポジウム「21 世紀に求められる病理学実習の在り方」の報告冊子を各大学に送付した。

- (9) 国際交流委員会
- 1) 平成13年度事業として、会員の海外派遣事業及び海外病理学会会員の招へい事業は、前年度と同様とすることに決めた。
  - 2) 新規事業として、会員の海外病理学会参加支援事業を行うこととし、その応募に心要な内容、書式等について決めた。
- (10) 支部委員会  
各部の活動報告、情報交換等を行った。
- (11) 診断病理体制専門委員会  
日本衛生検査所協会会員及び同協会非加盟の衛生検査所の140施設に「診断病理に関するアンケート」を実施した。

## 7. 倫理委員会の設置について

本学会の当面する倫理問題に対処するため、社団法人日本病理学会倫理委員会を設置し、その規定を制定することが承認された。倫理委員会内規及びその取扱細則は、以下のとおりである。

### ○倫理委員会内規

1. この内規は、定款第26条第2号に基づき、倫理委員会(以下「本委員会」という。)を置き、その目的、業務担当などについて定める。
2. 本委員会は、病理学領域に係る研究や診療等に関する倫理問題を検討し、倫理問題に関する他の機関等との交流・調整を行うことを目的とする。
3. 本委員会は、理事会の諮問に応じて以下に掲げる事項を担当する。
  - (1) 病理学領域に係る研究や診療等に関する倫理問題の検討及び勧告業務
  - (2) 倫理問題に関する他の機関等との交流・調整業務
  - (3) その他倫理問題に関する業務
4. 本委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
  - (1) 委員は5名程度で構成する。このほか特別委員として、必要に応じて外部関係者数名を加えることができる。
  - (2) 委員は、病理学領域における経験、識見、地域及び年齢等を考慮して選出することとし、理事長が理事会に諮って委嘱する。
  - (3) 特別委員は、理事長が理事会に諮って委嘱する。
    - 2 委員会に委員長を置き、理事長が理事会に諮って決定する。また、必要に応じ、副委員長を置くことができる。
    - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
5. 本委員会は、委員長が招集し議長となる。

- 2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者にオブザーバーとして出席を要請し、意見を求めることができる。
- 3 委員会の審議過程及び決定事項は、理事会に報告する。
6. 本委員会の業務を円滑に行うために、必要に応じて小委員会を置くことができる。
  - 2 小委員会委員長は、本委員会委員とし、委員は本委員会委員及び本会会員から5名程度を選出することとし、理事長が理事会に諮って委嘱する。
  - 3 小委員会は原則として、時限の委員会とし、問題解決をもって解散する。
7. この内規の改廃は、理事会の議決による。

### 附 則

1. この内規は、平成13年4月6日制定施行する。

### ○倫理委員会内規取扱細則

1. 倫理委員会内規に基づき、その取扱細則を以下のとおり定める。
2. 倫理問題の提議は、理事会に対して学術評議員を通じて行うものとする。
3. 特別委員とは、法律家、倫理学者等の有識者を指すものとする。
4. 緊急時には、「理事会」を「理事会または常任理事会」と読み替えるものとする。
5. この細則の改廃は、理事会の議決による。

### 附 則

1. この細則は、平成13年4月6日制定施行する。

## 8. 平成12年度学術奨励賞の授与について

平成12年度学術奨励賞受賞者は、以下の7名の方々に決定した。総会の席上で秦理事長から各受賞者に賞状及び記念品が授与された。

- ・遠藤泰志(済生会新潟第二病院) [胃分化型癌の細胞形質と遺伝子変化]
- ・幅野 渉(岩手医科大学) [ヒト腫瘍におけるミトコンドリアゲノムの不安定化]
- ・伊藤彰彦(大阪大学大学院医学系研究科) [サブトラクション法による癌細胞転移機構の解析]
- ・伊藤浩史(宮崎医科大学) [消化管粘膜上皮再生修復における肝細胞増殖因子活性化機構の解明]
- ・北澤荘平(神戸大学医学部) [エピジェネティクスによる遺伝子発現調節機構の解析：病理組織検体への展開]
- ・長嶋洋治(横浜市立大学医学部) [腎腫瘍の病理学的・細胞生物学的研究、癌の転移浸潤機構の解明]
- ・谷田部恭(愛知県がんセンター病院) [clonalityを中心

とした腫瘍における遺伝子病理学的検討]

## 9. 平成12年度事業報告並びに決算報告

平成12年度事業報告並びに収支決算報告が以下のとおり承認された。

### (1) 平成12年度事業報告

平成12年4月1日～平成13年3月31日

#### 1) 学術集会、研究会等の開催

##### ① 学術集会の開催

- ・「第89回日本病理学会総会」(於大阪府・北村幸彦会長)を開催
- ・「第46回日本病理学会秋期特別総会」(於仙台市・名倉宏代表世話人)を開催

##### ② 研究会等の開催

各支部会での学術集会・研修集会(講演会, 交見会, 技術講習会等)を開催

##### ③ 公開シンポジウム(於仙台市・医学研究と生命倫理—ヒト細胞を用いた医学研究における生命倫理問題—)を開催

#### 2) 学会誌、学術図書等の発行

##### ① 「日本病理学会会誌」(第89巻 第1～2号)を発行

##### ② 「Pathology International」(第50巻 第4～12号, 第51巻 第1～3号)を発行

##### ③ 「日本病理学会会報」(第152～161号)を発行

##### ④ 「診断病理」(第17巻 第2～4号, 第18巻 第1号)を発行

##### ⑤ 「認定病理医部会報」(平成12年4, 7, 10月, 平成13年2月)を発行

##### ⑥ 「Pathology Research and Practice」を支援

#### 3) 研究及び調査

##### ① 「日本病理剖検輯報」(第41輯(平成10年症例))を発行

##### ② 剖検記録データベースを再構築

#### 4) 認定病理医等の資格認定

##### ① 認定病理医・認定口腔病理医の認定・試験を実施(於東京都)

##### ② 研修施設を認定

##### ③ 平成12年度細胞診講習会を2回実施

#### 5) 学術団体との協力、連絡

##### ① 他学会との会議共催および後援事業を実施

##### ② 腫瘍取扱い規約等を改訂

##### ③ 英国病理学会との会員の相互派遣, 学術交流を実施(於大阪市)

##### ④ 第23回国際病理アカデミー国際会議(IAP. NAGOYA 2000)を開催(於名古屋市)

#### 6) その他目的を達成するために必要な事業

##### ① 日本病理学会学術奨励賞を選定授与

##### ② 会員の海外派遣を実施

##### ③ 病理学卒前教育を実施

##### ④ 病理診断コンサルテーションシステムを充実

##### ⑤ インターネットホームページを充実

##### ⑥ 医師賠償責任保険の団体契約と会員の加入を実施

##### ⑦ 認定病理医制度運営, 認定口腔病理医制度運営, 医療業務等の各種委員会を開催

### (2) 平成12年度収支決算報告

#### 1) 収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減
I. 収入の部			
<b>1. 基本財産運用収入</b>	<b>100,000</b>	<b>36,188</b>	<b>△ 63,812</b>
受取利息収入	100,000	36,188	△ 63,812
<b>2. 会費収入</b>	<b>58,750,000</b>	<b>55,359,000</b>	<b>△ 3,391,000</b>
正会員・学術評議員会費	25,000,000	25,552,000	552,000
同・一般会員会費	22,500,000	20,005,000	△ 2,495,000
学生会員会費	50,000	0	△ 50,000
機関会員会費	700,000	510,000	△ 190,000
賛助会員会費	450,000	400,000	△ 50,000
認定病理医部会員会費	10,050,000	8,892,000	△ 1,158,000
<b>3. 事業収入</b>	<b>99,670,000</b>	<b>103,231,549</b>	<b>3,561,549</b>
学術集会収入	60,000,000	57,247,471	△ 2,752,529
論文掲載料収入	2,300,000	3,088,538	788,538
広告料収入	2,250,000	1,608,000	△ 642,000
刊行物発行収入	22,500,000	23,108,200	608,200
認定医制度収入	12,000,000	15,237,500	3,237,500
認定病理医部会収入	620,000	2,941,840	2,321,840
<b>4. 補助金収入</b>	<b>4,500,000</b>	<b>8,500,000</b>	<b>4,000,000</b>
文部省科学研究費	4,300,000	8,300,000	4,000,000
日本医学会補助金	200,000	200,000	0
<b>5. 雑収入</b>	<b>600,000</b>	<b>737,413</b>	<b>137,413</b>
受取利息収入	600,000	140,733	△ 459,267
雑収入	0	596,680	596,680
<b>6. その他収入</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	<b>5,000,000</b>
国際会議引当預金取崩し収入	0	5,000,000	5,000,000
当期収入合計 (A)	163,620,000	172,864,150	9,244,150
前期繰越収支差額	43,891,063	43,896,063	0
収入合計 (B)	207,516,063	216,760,213	9,244,150
II 支出の部			
<b>1. 事業費</b>	<b>147,370,000</b>	<b>152,133,811</b>	<b>4,763,811</b>
学術集会経費	61,000,000	59,208,964	△ 1,791,036
学会誌発行経費	36,600,000	37,959,987	1,359,987
会報発行経費	1,000,000	3,034,500	2,034,500
剖検輯報刊行経費	17,600,000	25,131,877	7,531,877
認定医制度運営経費	11,000,000	9,873,254	△ 1,126,746

認定病理医部会経費	10,670,000	9,458,389	△1,211,611
支部運営経費	4,000,000	4,050,000	50,000
学術奨励等経費	2,500,000	1,600,000	△900,000
各種委員会経費	3,000,000	1,816,840	△1,183,160
<b>2. 管理費</b>	<b>29,630,000</b>	<b>27,541,874</b>	<b>△2,088,126</b>
人件費	15,000,000	14,975,672	△24,328
福利厚生費	1,500,000	1,696,060	196,060
交通費	700,000	592,820	△107,180
通信運搬費	2,800,000	1,792,344	△1,007,656
会議費	1,500,000	1,542,218	42,218
印刷費	2,000,000	1,836,698	△163,302
備品費	500,000	0	△500,000
消耗品費	300,000	241,904	△58,096
光熱水料	270,000	240,803	△29,197
賃借料	2,700,000	2,589,306	△110,694
諸会費	700,000	743,490	43,490
補助費	400,000	200,000	△200,000
修繕料	100,000	24,150	△75,850
嘱託料	960,000	882,000	△78,000
雑費	200,000	184,409	△15,591
<b>3. その他</b>	<b>6,000,000</b>	<b>11,000,000</b>	<b>5,000,000</b>
退職給与引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
国際会議引当預金支出	5,000,000	0	△5,000,000
国際会議負担金支出	0	10,000,000	10,000,000
当期支出合計 (C)	183,000,000	190,675,685	7,675,685
当期収支差額 (A-C)	△19,380,000	△17,811,535	1,568,465
次期繰越収支差額 (B-C)	24,516,063	26,084,528	1,568,465

## 2) 正味財産増減計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで  
(単位 円)

科目	金額	
<b>I. 増加の部</b>		
1. 資産増加額		
退職給与引当預金増加額	1,000,000	1,000,000
2. 負債減少額		0
<b>増加額合計</b>		<b>1,000,000</b>
<b>II. 減少の部</b>		
1. 資産減少額		
当期収支差額	17,811,535	
国際会議引当預金減少額	5,000,000	
什器備品償却費	253,853	23,065,388
2. 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	1,000,000	1,000,000
<b>減少額合計</b>		<b>24,065,388</b>
当期正味財産減少額		23,065,388
前期繰越正味財産額		200,493,081
<b>期末正味財産合計額</b>		<b>177,427,693</b>

## 3) 貸借対照表

平成13年3月31日現在 (単位 円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	59,694,339	
仮払金	207,900	
未収金	1,164,000	
流動資産合計		61,066,239
2 固定資産		
基本財産	30,000,000	
その他の固定資産		
特別財産	120,000,000	
保証金	930,000	
退職給与引当預金	5,300,000	
什器備品	413,165	
その他の固定資産合計	126,643,165	
固定資産合計		156,643,165
<b>資産合計</b>		<b>217,709,404</b>
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
前受金	24,935,000	
未払金	9,803,804	
預り金	242,907	
流動負債合計		34,981,711
2 固定負債		
退職給与引当金	5,300,000	
固定負債合計		5,300,000
<b>負債合計</b>		<b>40,281,711</b>
<b>III 正味財産の部</b>		
正味財産		177,427,693
(うち基本金)		(30,000,000)
(うち正味財産当期減少額)		(23,065,388)
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>217,709,404</b>

## 4) 財産目録

平成13年3月31日現在 (単位 円)

科目	金額	
<b>1. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1) 現金預金		
現金 現金手許有高	175,499	
普通預金 第一勧業銀行本郷支店	13,363,105	
定期預金 第一勧業銀行本郷支店	42,453,886	
信託預金 三菱信託銀行本郷支店	215,909	
郵便振替	3,485,940	
現金預金合計	59,694,339	
(2) 仮払金		
家賃	195,300	
コピー機	12,600	
仮払金計	207,900	
(3) 未収金		

学会誌別刷代	1,164,000	61,066,239	
流動資産合計			
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 第一勧業銀行本郷支店	30,000,000		
(2) その他の固定資産			
①特別財産			
学術医療基金引当預金	100,000,000		
国際交流基金引当預金	20,000,000		
特別財産合計	120,000,000		
②保証金	930,000		
③退職給与引当預金	5,300,000		
④什器備品	413,165		
その他の固定資産合計	126,643,165		
固定資産合計		156,643,165	
資産合計			217,709,404
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 前受金			
平成13年度会費	24,935,000		
(2) 未払金			
学会誌印刷送費・会報印刷費	5,328,264		
英文誌印刷費	3,200,000		
剖検輯報入力システム開発費	1,275,540		
未払金合計	9,803,804		
(3) 預り金			
源泉所得税・社会保険料	242,907		
流動負債合計		34,981,711	
2. 固定負債			
退職給与引当金	5,300,000		
固定負債合計		5,300,000	
負債合計			40,281,711
正味財産			177,427,693

## 10. 平成13年度事業計画（追加）

平成13年度の追加事業計画として以下の事項が承認された。

- ホームページの充実（専門家の協力を得て、リニューアルする）。
- 会員名簿の発行（2001年版を発行する）。
- 会費等の口座自動引落とし（平成14年度実施に向け準備する）。
- 剖検輯報編集方法の変更（一新を図る/プログラム開発、サーバーの移転、フロッピーの配布等）。
- 海外病理学会参加支援（40歳未満の若手病理学者（会員）を対象に募集する。IAP, ASIP, ESP, WASPなどの海外の病理学会に参加し、研究発表を奨励するための助成を行う。若手病理学者が国際的視野を養い病理学研究の発展に貢献できるように支援する）。
- 講習会、セミナー等の開催。
  - 技術講習会「分子病理学の基礎技術」
  - 病理診断講習会「消化管生検組織診断」

## (3) 夏期セミナー及び夏の学校

### 11. 名誉会員について

小西陽一氏が新たに名誉会員に推戴された。

### 12. 新学術評議員について

下記の43名が新学術評議員に決定した。

羽賀 博典	宮城 洋平	迫間 隆昭	渡辺 次郎
伊藤 浩史	森光 洋介	重光 利朗	渡邊 一男
片岡 秀夫	村垣 泰光	島松 一秀	山口 岳彦
加藤 雅子	村雲 芳樹	宗 志平	山口 佳子
熊谷 二郎	中島 収	杉野 隆	山本 格
国安 弘基	西阪 隆	鈴木 貴	山城 勝重
来栖 義賢	大林 正	立山 義朗	矢持 淑子
草深 公秀	岡田 裕之	塚 正彦	柳井 広之
三上 芳喜	折居 正之	梅北 善久	矢野 博久
三村 六郎	小柳津直樹	宇都宮忠彦	谷田部 恭
南 利江子	坂元 和宏	渡邊 千尋	

### 13. 選挙制度について

本学会の役員選挙制度については、前回の選挙実績に基づき改善策を検討しているがここではその概要を記載する。

社団法人日本病理学会の現行役員選挙制度に基づき、平成12年度役員選出のための選挙を担当した選挙管理委員長より、これに費やす労力、時間及び経費があまりにも多いことなどの実態報告と併せてその改善策が提案された。

このため、理事長は、選挙制度検討委員会を設置し、審議をゆだね、答申を受けた。

理事会では、この結果を基に審議を行ったが、学術評議員会、各支部会等での意見を待って、あらためて審議することにした。

選挙制度の改定を必要とする具体的な理由及びその背景並びに選挙制度の改定(案)は、以下のとおりですので、参考にして下さい。

## 記

### 1. 選挙制度の改定が必要となった理由、背景

- 現行諸規定は、法人化に当たって種々検討されたところであるが、従来から行われてきた選挙制度を重視し、大幅に変えないで概ね踏襲の上、公正な役員選出が行えるものとして規定整備を行った。この間、所轄官庁も手のこんだ選挙制度になっているという認識はあったが、このことについて特段の注意はなかった。
- この制度は、従来の三幹事に相当する理事長、財務担当理事、学術研究担当理事に認定病理医部会担当理事を加えた四役並びに口腔病理部会担当

理事を総会当日の直接選挙（第2段投票）により順次選出し、次に支部担当理事、全国区担当理事及び監事について、それぞれ別々に選挙（郵便による第2段投票）を行う方法である。

- (3) 平成12年度役員選出のための選挙は、平成11年度において、上記の手續により選挙管理委員会（第1期）が実施した結果、新役員の選出までに8ヶ月の期間と会員への発送、投票券の開票などの手間及び印刷費、発送費、委員旅費などの直接経費で約2,500千円を要した。

同委員会は、これを踏まえ、その実態の報告と改善策をまとめ、理事長に上申した。

- (4) これを受け、理事長は、常任理事会で検討の上、特別委員会として選挙制度検討委員会を設置した。同委員会は、前記資料を中心に審議を行い、選挙制度の改正（案）をまとめ、提出されたので、常任理事会でこれを参考に選挙制度の改定（案）を作成した。

- (5) 平成13年2月20日の理事会では、これを基に審議を行ったが、役員の年齢、候補者の記名数などに検討の余地もあり、また、この他にもよい方法はないかを問う意味でも各支部会や学術評議員会等において意見、意向を聴取し、さらに検討を行うこととした。

2. 選挙制度の改定（案）は、以下のとおりです。

十分な検討をお願いいたします。

#### ○選挙制度の改定（案）

1. 役員（理事、監事）選挙は、全ての役員を同時に行い、1回の選挙（郵便による投票）によって決める。
2. 理事長の選出は、理事の互選とするほか副理事長、常任理事の選出も理事会で決める。
3. 役員の任期は、2年とし、再任を妨げないが、連続して2期を越えることはできない。
4. 選挙区分及び役員の定数は、次のとおりとする。

- ① 理事（全国区選出）11名
- ② 理事（口腔病理部会担当）1名
- ③ 理事（支部担当）7名
- ④ 監事 2名

5. 選挙の方法は、次のとおりとする。

- (1) 全正会員による投票
  - ① 理事（全国区選出）候補者として、5名連記
  - ② 理事（口腔病理部会担当）候補者として、1名单記
  - ③ 監事候補者として、2名連記
- (2) 各支部に所属する正会員による投票
  - ① 理事（支部担当）候補者として、各支部毎に1名单記
- (3) 理事候補者と監事候補者には、同一人を連記重複して投票できない。

6. 投票結果の確認、決定は、次のとおりとする。

選挙管理委員会は、投票券を開票し、次の順序により役員予定者を決定する。この場合、本人の内諾をとる。

- (1) 役員毎に所定定員までの得票上位者を役員予定者とする。
- (2) 理事と監事は兼務できないので、理事候補者と監事候補者に重複して選出された場合は、理事予定者とするを優先する。その場合、監事予定者は次点者から順次繰り上げる。
- (3) 理事（全国区選出）候補者と理事（支部担当）候補者に重複して選出された場合は、理事（支部担当）予定者とするを優先する。ただし、理事（支部担当）予定者が後日、理事長予定者に選出されたときは、理事（支部担当）予定者には当該地区の次点者を繰り上げる。なお、理事長予定者が理事（支部担当）を兼務するときはこの限りではない。
- (4) 選挙管理委員長は、選挙結果を理事長に報告する。

7. 理事長は、次期役員予定者を招集し、役職を決める。

- (1) 理事長予定者の選出は、理事予定者の互選による。
- (2) 副理事長予定者（2名）は、理事長予定者が理事予定者のうちから推薦し、協議して選出する。
- (3) 常任理事（財務、学術・研究、認定病理医部会担当の3名）予定者は、理事長予定者が理事予定者のうちから役職毎に推薦し、協議して選出する。
- (4) 常任理事予定者以外の担当理事（企画・広報、教育、国際担当の3名）予定者の選出は、理事予定者の互選による。

8. 理事及び幹事は、総会で選任する。

- (1) 理事長は、役員の選挙結果を報告する。
- (2) 役員の選任に当たり、本人より就任承諾を求める。

#### 14. 認定病理医資格更新者氏名

第3回 認定 198名

更新期間 平成13年（2001年）4月1日から5年間

認定番号 氏名

523	高濱素秀	536	坂本穆彦
524	板倉英世	539	菊池正教
526	覚道健一	540	小形岳三郎
527	田所衛	542	中里洋一
528	桶田理喜	544	谷中誠
531	近藤洋一郎	547	貝森光大
533	佐藤達資	548	岸川正大
534	松崎理	550	鎌田義正
535	石川義磨	551	中村恭二

552	久原肇	553	久原肇	554	伊藤忠	555	三森睦	556	長嶺由	557	福島昭	558	深瀨真	559	立津洋	560	松原立	561	佐竹哲	562	今高橋	563	高品川	564	大石森	565	石箱崎	566	岡安知	567	鈴木江	568	坂中村	569	笹本忠	570	柴木功	571	佐々木	572	園部裕	573	山下浩	574	山杉浦	575	松陰宏	576	大月均	577	入江康	578	遠藤雄	579	中英基	580	花之内	581	酒谷邦	582	森中尚	583	田中豐	584	森野伍	585	浅水無	586	福原敏	587	佐久間	588	原正秀	589	田中康	590	前田昭	591	原一夫	592	岩崎雄	593	芝山老	594	吉田豐	600	小川惠	601	横山繁	602	井内康	603	遠藤久	604	津嘉山	605	藤原正	606	鈴木利	607	相羽元	608	瓦井美	609	小西陽	610	小金城	611	岩本俊	612	羽田川	613	荒川正	614	神代正	615	根本啓	616	甲賀一	617	寺嶋一	618	石井壽	619	太田秀	620	長河村	621	河林幸	622	中林修	623	須古博	624	安達俊	625	荻生根	626	関筒井	627	石黒信	628	福田萬	629	向井起	630	赤塚誠	631	近藤安	632	広瀬雅	633	江村善	634	海老原	635	倉科正	636	松浦博	637	三俣昌	638	宮田幸	639	恵良昭	640	松下和	641	神田利	642	高梨一	643	國友忠	644	渡白根	645	阪本晴	646	龜井敏	647	濱口欣	648	古里征	649	古城謙	650	山口裕	651	猪股出	652	木村格	653	宮下剛	654	廣吉愛	655	吉田浩	656	武田善	657	松田幹	658	中金井	659	林幸雄	660	伊藤浩	661	山下憲	662	武村民	663	河合俊	664	丸一則	665	坂新開	666	明松智	667	三村惠	668	芝田敏	669	池田庸	670	加藤一	671	白井智	672	仲綾	673	大塚陽	674	多田豐	675	木村伯	676	森川征	677	副島和	678	袖本幸	679	中沼安	680	内藤真	681	片桐一	682	鈴木一	683	前田盛	751	大島章	752	若林と	753	林博美	754	向井美	755	松谷章	756	高橋正	757	鷹巢晃	758	光谷俊	759	下川伶	760	田中智	761	高中洋	762	窪村真	763	畑日出	764	打越敏	765	加藤洋	766	渡邊照	767	樋口正	768	島田篤	769	澤井高	770	能勢眞	771	森山昌	772	島田勝	773	土屋永	774	岩間憲	775	伊室邦	776	谷口春	777	塩田敏	778	藤倉俊	779	真鍋春	780	泉星利	781	諸原昌	782	実藤隼	783	岡部英	784	藤岡保	785	恒吉正	786	伊藤啓	787	泉植規	788	泉植規	789	泉植規	790	泉植規	791	泉植規	792	泉植規	793	泉植規	794	泉植規	795	泉植規	796	泉植規	797	泉植規	798	泉植規	799	泉植規	800	泉植規	801	泉植規	802	泉植規	803	泉植規	804	泉植規	805	泉植規	806	泉植規	807	泉植規	808	泉植規	809	泉植規	810	泉植規	811	泉植規	812	泉植規	813	泉植規	814	泉植規	815	泉植規	816	泉植規	817	泉植規	818	泉植規	819	泉植規	820	泉植規	821	泉植規	822	泉植規	823	泉植規	824	泉植規	825	泉植規	826	泉植規
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 第8回 認定 34名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1211	榎木	登	1229	堀部	良宗
1212	辻村	崇浩	1231	寺畑	信太郎
1213	大部	誠	1232	田丸	淳一
1214	林	一彦	1233	本間	慶一
1215	小松	明男	1235	坪根	幹夫
1216	車谷	宏	1236	野島	孝之
1217	小田	恵夫	1237	伊藤	隆明
1219	白石	泰三	1238	後藤	正道
1220	近藤	勝彦	1239	杉浦	仁
1221	蓮井	和久	1240	澤田	達男
1222	佐藤	明	1241	中谷	行雄
1223	平戸	純子	1242	江口	正信
1224	吉峰	二夫	1243	鈴木	不二彦
1225	大井	章史	1246	福田	悠
1226	末松	直美	1247	三浦	克敏
1227	山口	潤	1248	玉井	正光
1228	中西	速夫	1249	小柳津	直樹

## 第13回 認定 50名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1502	笹野	公伸	1534	佐熊	勉
1504	中山	淳	1535	鬼島	宏
1505	村田	哲也	1536	宗	寛之
1508	石川	雄一	1538	川端	晃幸
1509	緒方	謙太郎	1539	小野田	登
1510	飯島	達生	1540	中村	雅登
1511	坂元	亨宇	1541	小杉	伊三夫
1512	伊藤	以知郎	1543	服部	淳夫
1513	赤池	康	1544	五十嵐	誠治
1514	山本	一郎	1545	稲田	健一
1515	中野	洋	1546	小田	秀明
1517	井上	泰	1547	干川	就可
1518	黒滝	日出一	1548	多田	伸彦
1519	中島	透	1549	中谷	晃信
1520	津田	均	1550	江石	義信
1521	小山	徹也	1552	長谷部	孝裕
1522	浅田	祐士郎	1553	山村	彰彦
1523	樋口	佳代子	1554	西川	祐司
1524	荻野	哲也	1555	馬場	聡
1525	万代	光一	1556	蛭名	義仁
1526	梅澤	明弘	1559	鶴田	潤二
1527	安井	英明	1560	高木	正之
1529	松井	一裕	1561	熊坂	利夫
1532	弘井	誠	1562	佐藤	啓一
1533	能勢	聡一郎	1563	福田	春樹

## 第18回 認定 51名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1810	小野	一雄	1844	星井	嘉信
1811	薄田	浩幸	1845	田代	賀比古
1812	野首	光弘	1847	末吉	和宣
1813	谷本	昭英	1848	山崎	大
1814	星田	義彦	1849	神田	浩明
1816	伊倉	義弘	1850	横井	太紀雄
1817	湧谷	純	1851	安見	和彦
1818	渡辺	みか	1852	和田	龍一久
1822	武島	幸男	1853	桂	義久
1823	三上	芳喜	1854	早瀬	コネ子
1824	櫻井	宏治	1855	伊藤	哲彦
1825	菅原	修	1857	上原	久典
1826	西川	俊郎	1858	清水	和彦
1827	溝口	幹朗	1859	平井	周
1829	河村	俊治	1860	鈴木	誠
1830	安田	政実	1861	原岡	誠司
1832	大林	正	1862	前島	俊孝
1833	湊	宏	1863	小野	貞英
1835	相田	芳夫	1864	横山	慶一
1836	佐野	孝昭	1865	藤原	久美
1837	中江	大	1866	武内	英二
1838	都築	豊徳	1867	大塚	成人
1839	櫻井	信司	1868	中村	靖司
1840	前田	智治	1869	大城	由美
1842	飯田	健一	1870	西村	理恵子
1843	内木	宏延			

## 第7回 認定 1名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

1186 菊地 文史

## 第16回 認定 1名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から3年間

認定番号 氏名

1718 佐々木 素子

## 第17回 認定 3名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

1772 藤野 雅彦 1801 足立 史朗  
1792 内藤 善哉

## 15. 認定口腔病理医資格更新者氏名

第3回 認定 10名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

46	林	良	夫	52	石	田	武
47	山	口	朗	53	福	田	康
49	橋	本	貞	54	伊	東	博
50	朔		敬	55	小	川	裕
51	出	雲	俊	57	立	川	哲

#### 第8回 認定 1名

更新期間 平成13年(2001年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

84 和唐雅博

### 16. 平成13年度認定病院更新

(第2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22回 計135施設)

期間2年間 平成13年4月1日～平成15年3月31日

#### 第2回 認可(14施設)

認定番号 病院名

2005 山形県立中央病院  
2006 (財)竹田総合病院  
3019 埼玉県立がんセンター  
3020 (財)癌研究会附属病院  
3021 JR東京総合病院  
3022 国家公務員共済組合連合会虎の門病院  
3023 国立相模原病院  
4007 新潟市民病院  
4008 名古屋第一赤十字病院  
4009 国立金沢病院  
5009 大阪府立病院  
5010 労働福祉事業団大阪労災病院  
7002 九州厚生年金病院  
7003 国立病院九州がんセンター

#### 第4回 認可(3施設)

認定番号 病院名

3028 日本赤十字社医療センター  
3029 国立大蔵病院  
4010 長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院

#### 第6回 認可(6施設)

認定番号 病院名

3035 越谷市立病院  
3037 社会保険船橋中央病院  
3039 総合病院国保旭中央病院  
3040 東京都立清瀬小児病院  
4015 長野赤十字病院

5017 奈良県立奈良病院

#### 第8回 認可(9施設)

認定番号 病院名

3045 公立学校共済組合関東中央病院  
3046 東京都立府中病院  
4017 静岡県立総合病院  
4018 社会保険中京病院  
5019 (財)日本生命済生会附属日生病院  
5020 兵庫県立西宮病院  
5021 兵庫県立淡路病院  
6017 広島市立安佐市民病院  
7009 佐賀県立病院好生館

#### 第10回 認可(10施設)

認定番号 病院名

3002 群馬県立がんセンター  
3052 伊勢崎市民病院  
3054 東京都済生会中央病院  
4024 長岡赤十字病院  
4025 富士市立中央病院  
4026 聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院  
4027 富山県立中央病院  
5012 (財)住友病院  
5025 大阪府立母子保健総合医療センター  
7011 北九州市立医療センター

#### 第12回 認可(12施設)

認定番号 病院名

1008 北海道厚生連総合病院帯広厚生病院  
2012 (財)宮城厚生協会坂総合病院  
3060 (株)日立製作所日立総合病院  
3061 東京歯科大学市川総合病院  
3062 東京都立墨東病院  
3063 公立昭和病院  
3064 恩賜財団済生会横浜市南部病院  
4030 公立陶生病院  
6019 総合病院松山赤十字病院  
7012 特定医療法人雪の聖母会聖マリア病院  
7013 熊本市立熊本市市民病院  
7014 宮崎県立宮崎病院

#### 第14回 認可(12施設)

認定番号 病院名

1009 社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院  
2015 (財)白楡会総合会津中央病院  
3069 茨城県立中央病院  
3070 医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院

3071	東京都立大塚病院
3072	東京警察病院
3073	医療法人社団健生会立川相互病院
4034	藤枝市立総合病院
4035	松波総合病院
4036	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
5033	NTT 西日本大阪病院
6021	広島赤十字・原爆病院

**第16回 認可 (7 施設)**

認定番号	病院名
1010	厚生連総合病院旭川厚生病院
2016	山形市立病院済生館
2017	盛岡赤十字病院
3076	労働福祉事業団東京労災病院
3077	労働福祉事業団横浜労災病院
5037	医療法人医仁会武田総合病院
7017	大牟田市立総合病院

**第18回 認可 (14 施設)**

認定番号	病院名
3079	総合病院土浦協同病院
3080	浦和市立病院
3081	国立がんセンター東病院
3082	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院
4016	総合病院名古屋第二赤十字病院
4042	黒部市民病院
4043	豊橋市民病院
4044	袋井市立袋井市民病院
4045	小牧市民病院
5040	大阪市立総合医療センター
5041	労働福祉事業団関西労災病院
6023	島根県立中央病院
6024	高松赤十字病院
7019	佐世保市立総合病院

**第20回 認可 (5 施設)**

認定番号	病院名
3085	医療法人社団木下会 千葉西総合病院
3086	東京都立荏原病院
4047	聖隷三方原病院
5043	市立岸和田市民病院
5044	国立神戸病院

**第22回 認可 (43 施設)**

認定番号	病院名
1011	総合病院旭川赤十字病院
1012	国家公務員共済組合連合会 幌南病院

2009	労働福祉事業団福島労災病院
2021	国立弘前病院
2022	東北労災病院
2023	仙台市立病院
2024	東北厚生年金病院
2025	石巻赤十字病院
2026	秋田赤十字病院
3048	大宮赤十字病院
3051	横須賀市立市民病院
3091	栃木県厚生農業協同組合連合会下都賀総合病院
3092	茨城県済生会水戸済生会総合病院
3093	労働福祉事業団鹿島労災病院
3094	医療法人社団東光会戸田中央総合病院
3095	千葉労災病院
3096	東京都立大久保病院
3097	医療法人財団河北総合病院
3099	社会福祉法人恩賜財団済生会神奈川県病院
4003	愛知県がんセンター
4005	富山市立富山市民病院
4019	岐阜県立多治見病院
4050	甲府共立病院
4051	諏訪赤十字病院
4053	沼津市立病院
4054	医療法人豊田会刈谷総合病院
4055	国立三重中央病院
5022	和泉市立病院
5024	市立豊中病院
5047	社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院
5048	東大阪市立総合病院
5049	公立豊岡病院
5050	医療法人社団新日鐵広畑病院
5051	日本赤十字社和歌山医療センター
6008	香川県立中央病院
6025	松江赤十字病院
6026	労働福祉事業団香川労災病院
6027	徳島赤十字病院
7008	鹿児島市立病院
7018	国家公務員共済組合連合会浜の町病院
7020	医療法人原三信病院
7021	福岡赤十字病院
7022	国立熊本病院

**17. 平成13年度登録施設更新**

(第2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22 回 計 88 施設)

期間(2年間) 平成13年4月1日～平成15年3月31日

**第2回 認可 (9 施設)**

登録番号	病院名
2008	平鹿総合病院

3027 桐生厚生総合病院  
 3028 厚生中央病院  
 3029 川崎協同病院  
 4022 静岡赤十字病院  
 4023 浜松労災病院  
 4024 浜松赤十字病院  
 5018 (社)明石市医師会立明石医療センター  
 7012 熊本赤十字病院

**第4回** 認可(5施設)

登録番号 病院名  
 5024 公立南丹病院  
 6011 水島協同病院  
 6012 高知赤十字病院  
 7015 医療法人社団新日鐵八幡記念病院  
 7018 宮崎社会保険病院

**第6回** 認可(7施設)

登録番号 病院名  
 2011 秋田県立脳血管研究センター  
 3036 医療法人社団江東病院  
 4002 市立島田市民病院  
 4028 市立岡谷病院  
 4030 高山赤十字病院  
 7021 公立学校共済組合九州中央病院  
 7025 総合病院鹿児島生協病院

**第8回** 認可(7施設)

登録番号 病院名  
 3051 埼玉社会保険病院  
 3055 横浜赤十字病院  
 4035 国立松本病院  
 5033 医療法人平和会吉田病院  
 5034 西宮市立中央病院  
 6014 高松市民病院  
 6016 下関市立中央病院

**第10回** 認可(8施設)

登録番号 病院名  
 3057 茨城県立こども病院  
 3058 神奈川県厚生農業協同組合連合会  
 伊勢原協同病院  
 3059 北里研究所病院  
 3060 神奈川県立循環器呼吸器病センター  
 4042 名古屋記念病院  
 5036 市立吹田市民病院  
 6017 高知市立市民病院  
 7030 鹿児島市医師会病院

**第12回** 認可(2施設)

登録番号 病院名  
 4047 医療法人(社団)中信勤労者医療協会  
 松本協立病院  
 4048 県西部浜松医療センター

**第14回** 認可(8施設)

登録番号 病院名  
 2016 津軽保健生活協同組合健生病院  
 5042 (財)甲南病院 加古川病院  
 5044 労働福祉事業団神戸労災病院  
 5045 西脇市立西脇病院  
 6018 岡山医療生活協同組合総合病院岡山協立病院  
 6019 財団法人永頼会松山市民病院  
 7033 国家公務員共済組合連合会新小倉病院  
 7034 労働福祉事業団熊本労災病院

**第16回** 認可(8施設)

登録番号 病院名  
 1008 札幌鉄道病院  
 3073 富士重工業健康保険組合総合太田病院  
 4058 愛知県厚生農業協同組合連合会加茂病院  
 4060 稲沢市民病院  
 6022 徳島県立中央病院  
 7037 福岡市立こども病院・感染症センター  
 7038 国立療養所福岡東病院  
 7039 医療法人同心会古賀総合病院

**第18回** 認可(12施設)

登録番号 病院名  
 3078 東芝病院  
 4063 済生会新潟第二病院  
 4064 長野県立こども病院  
 4065 土岐市立総合病院  
 4066 半田市立半田病院  
 5049 医療法人川崎病院  
 6024 鳥取市立病院  
 6025 国立福山病院  
 6027 麻田総合病院  
 6028 住友別子病院  
 6029 済生会今治病院  
 7040 鹿児島県立大島病院

**第20回** 認可(7施設)

登録番号 病院名  
 3081 利根保健生活協同組合利根中央病院  
 4073 済生会松阪総合病院  
 5052 医療法人社団洛和会洛和会音羽病院  
 5054 ベルランド総合病院

6032	鳥取県立中央病院
6033	広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院
6034	山陰労災病院

中部地区	栄本 忠昭
近畿地区	倉田 明彦
中国四国地区	井内 康輝
九州沖縄地区	居石 克夫

## 第22回 認可 (15施設)

登録番号	病院名
1017	市立室蘭総合病院
1018	苫小牧市立総合病院
2010	岩手県立宮古病院
4076	国立長野病院
4077	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
5060	公立甲賀病院
5061	彦根市立病院
5062	医療法人誠光会草津総合病院
5065	医療法人きっこう会総合病院多根病院
6002	国家公務員共済組合連合会広島記念病院
6037	国立善通寺病院
6038	社会福祉法人済生会松山病院
6039	済生会西条病院
6040	愛媛県立今治病院
7047	県立日南病院

## 18. 役員一覧 (平成13年度4月現在)

(1) 理事及び監事 (任期: 平成14年3月31日)	
理事 (理事長)	秦 順一
理事 (副理事長・常任理事)	森 茂郎
理事 (副理事長・常任理事)	小池 盛雄
理事 (常任理事)	恒吉 正澄
理事	青笹 克之
理事	栄本 忠昭
理事	林 良夫
理事	廣橋 説雄
理事	井内 康輝
理事	倉田 明彦
理事	真鍋 俊明
理事	向井 清
理事	長嶋 和郎
理事	長村 義之
理事	坂本 穆彦
理事	佐藤 英俊
理事	下田 忠和
理事	居石 克夫
理事	手塚 文明
監事	北村 幸彦
監事	松原 修
(2) 支部長 (任期: 平成14年3月31日)	
北海道地区	佐藤 英俊
東北地区	手塚 文明
関東地区	下田 忠和

## 19. 各種委員会の委員構成 (平成13年4月現在)

委員の一部に交代があり、委員会の構成は以下のとおりとなった。

### 1・2. 企画・広報委員会

秦 順一(委員長), 恒吉正澄, 森 茂郎, 小池盛雄, 青笹克之, 廣橋説雄, 倉田明彦, 坂本穆彦

### 3. 財務委員会

恒吉正澄(委員長), 秦 順一, 森 茂郎, 小池盛雄, 向井 清, 下田忠和

### 4. 学術委員会

森 茂郎(委員長), 秦 順一, 小池盛雄, 恒吉正澄, 青笹克之, 廣橋説雄, 向井 清, 長嶋和郎, 居石克夫, 武村民子, 立松正衛, 山邊博彦, 浅野重之, 水口國雄, 吉田浩己

### 4-2. 学術奨励賞選考委員会

長嶋和郎(委員長), 森 茂郎, 小池盛雄, 青笹克之, 廣橋説雄, 向井 清, 居石克夫

### 5. 研究推進委員会

森 茂郎(委員長), 栄本忠昭, 林 良夫, 黒田雅彦, 渡邊俊樹, 小田義直, 小山田正人

### 6. 編集委員会

森 茂郎(委員長), 秦 順一, 恒吉正澄, 坂本穆彦, 青笹克之, 根本則道, 向井 清

### 6-2. Pathology International 常任刊行委員会

向井 清(委員長), 秋山 太, 藤盛孝博, 深山正久, 船田信顕, 広瀬隆則, 今北正美, 石倉 浩, 井藤久雄, 城 謙輔, 前田 盛, 真鍋俊明, 松原 修, 森永正二郎, 長嶋洋治, 中村栄男, 中里洋一, 野口雅之, 能勢真人, 岡田保典, 坂元享宇, 笹野公伸, 佐藤雄一, 白井智之, 高橋雅英, 堤 雅弘, 堤 寛

### 6-3. 剖検情報委員会

根本則道(委員長), 青笹克之, 藤岡保範, 向井 清, 長村義之, 佐々木功典, 笹野公伸, 白井智之, 渡辺 昌, 安井 弥

### 7. 認定病理医制度運営委員会

小池盛雄(委員長), 坂本穆彦, 青笹克之, 真鍋俊明, 加藤 洋, 根本則道, 笹野公伸, 堤 寛, 橋本 洋, 井藤久雄, 黒田 誠, 森永正二郎

### 7-2. 認定病理医試験委員会

加藤 洋(委員長), 堤 寛, 川野 潔, 増田友之, 豊島里志, 広瀬隆則, 松谷章司, 向井萬起男

### 7-3. 認定病理医資格審査委員会

- 真鍋俊明 (委員長), 黒田 誠, 野々村昭孝, 岩崎 宏, 水口國雄, 本山悌一
- 7-4. 認定病理施設審査委員会  
根本則道(委員長), 笹野公伸, 石黒信吾, 加藤良平, 水無瀬昂, 佐野壽昭
- 7-5. 診断病理編集委員会  
坂本穆彦 (委員長), 堤 寛 (副), 泉 美貴 (副), 藤田昌宏, 本山悌一, 深山正久, 野島孝之, 岡村明治, 佐野壽昭, 横山繁生
- 7-6. 認定病理医部会報編集委員会  
橋本 洋(委員長), 堤 寛(副), 望月 眞 (副), 立野正敏, 岩間憲行, 根本則道, 中村栄男, 中嶋安彬, 石黒公雄, 小田義直
8. 医療業務委員会  
坂本穆彦(委員長), 林 良夫, 井内康輝, 手塚文明, 伊藤以知郎, 谷山清己, 松下 央, 中村栄男, 中村真一
- 8-2. コンサルテーション小委員会  
森永正二郎 (委員長), 手島伸一, 船田信顕, 石倉 浩
- 8-3. 社会保険小委員会  
根本則道(委員長), 黒田 誠, 水口國雄, 手島伸一, 松下 央, 斎藤 澄
- 8-4. 精度管理小委員会  
廣川満良(委員長), 石原明德, 清水道生, 横山繁生
- 8-5. 剖検・病理技術小委員会  
堤 寛(委員長), 黒田 誠, 岩崎琢也, 泉美貴, 佐藤雄一, 山口和克
- 8-6. 遠隔診断・病理情報小委員会  
井藤久雄(委員長), 澤井高志, 白石泰三, 土橋康成
9. 認定口腔病理医制度運営委員会  
林 良夫(委員長), 真鍋俊明, 朔 敬, 下野正基, 田中陽一, 伊集院直邦, 立川哲彦, 山本浩嗣
- 9-2. 認定口腔病理医試験委員会  
立川哲彦 (委員長), 伊集院直邦, 山本浩嗣, 田中陽一, 岡田憲彦
- 9-3. 認定口腔病理医資格審査委員会  
下野正基 (委員長), 朔 敬
10. 教育委員会  
青笹克之(委員長), 栄本忠昭, 井内康輝, 石倉 浩, 小西 登, 澤井高志, 中島 孝, 堤 寛
11. 国際交流委員会  
廣橋説雄(委員長), 長村義之, 深山正久, 神代正道, 山邊博彦, 岡田保典, 佐野壽昭
12. 支部委員会  
倉田明彦(委員長), 佐藤英俊, 手塚文明, 下田忠和, 栄本忠昭, 井内康輝, 居石克夫

13. 診断病理体制専門委員会  
櫻井 勇(委員長), 石河利隆(顧問), 深山正久, 今村正克, 井内康輝, 勝山 努, 黒田 誠, 岡崎悦夫, 長村義之, 土橋康成
14. 選挙制度検討委員会  
小池盛雄(委員長), 根本則道, 櫻井 勇, 下田忠和, 山口和克

## お知らせ

### 1. 黒住医学研究振興財団第9回研究助成金の募集について

申込み締切り：平成13年6月15日  
連絡先：(財)黒住医学研究振興財団事務局  
〒113-8408 文京区本郷1-33-8  
TEL 03-3812-3173 FAX 03-3813-2206

### 2. 平成13年度日本医師会医学賞・日本医師会医学研究助成費候補の推薦について

申込み締切り：平成13年7月2日  
連絡先：日本医師会生涯教育課  
〒113-8621 文京区本駒込2-28-16  
TEL 03-3946-2121 (内線3241~2)

### 3. 第10回(平成13年度)木原記念財団学術賞の受賞候補者推薦について

申込み締切り：平成13年9月30日  
連絡先：(財)木原記念横浜生命科学振興財団  
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12  
TEL 045-825-3487 FAX 045-825-3307

### 4. 第33回内藤記念科学振興賞・海外学者招へい助成金の受賞候補者の推薦について

申込み締切り：平成13年10月1日(海外学者招へい助成金前期は、平成13年6月1日、後期は、平成13年10月1日)  
連絡先：(財)内藤記念科学振興財団  
〒113-0033 文京区本郷3-42-6 NKDビル  
TEL 03-3813-3005 FAX 03-3814-2917

### 5. 2001年度電子顕微鏡技術認定試験について

申込み締切り：平成13年10月13日  
連絡先：(社)日本電子顕微鏡学会認定委員会庶務係  
〒113-8622 文京区本駒込5-16-9  
(財)日本学会事務センター内  
TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

## 6. 第21回札幌国際がんシンポジウムについて

会期：平成13年7月4日～6日  
 会場：北海道大学学術交流会館  
 連絡先：北海道大学遺伝子病制御研究所癌ウイルス分野  
 〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目  
 TEL 011-706-5072 FAX 011-717-1128

## 7. 千里ライフサイエンスシンポジウム「感染症—21世紀に持ち越された人類の課題」について

会期：平成13年7月17日  
 会場：千里ライフサイエンスセンター  
 連絡先：(財)千里ライフサイエンス振興財団シンポジウム係  
 〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2  
 千里ライフサイエンスセンタービル  
 TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002

## 8. 第4回骨病理セミナー（旭川）について

会期：平成13年8月7日  
 会場：旭川医科大学第4実習室・看護学科棟大講義室  
 連絡先：旭川医科大学整形外科講座骨病理セミナー事務局  
 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1-1-1  
 TEL 0166-68-2511 FAX 0166-68-2519

## 9. 分子シャペロンに関する国際シンポジウムについて

第8回CGGHシンポジウム：“New Paradigms of Molecular Chaperones in the Postgenome Era”招待演者（海外22名，国内24名を予定）による講演とポスター発表

会期：平成13年8月6日～9日  
 会場：札幌ファクトリーホール  
 オーガナイザー：佐藤昇志（札幌医大病理学第一），和田郁夫（札幌医大学生化学第二）  
 セッション1. 蛋白質はどのように機能的構造へ折り畳まれるか？  
 セッション2. 小胞体における分泌蛋白質の高次構造制御と品質管理  
 セッション3. 細胞増殖，発生における分子シャペロンの役割  
 セッション4. 分子シャペロンと免疫システム  
 セッション5. 蛋白質の折り畳みと変性疾患  
 プログラム・参加申し込み要領：

<http://web.sapmed.ac.jp/pathol/CGGH.html>

ポスター発表申込み締切：6月30日  
 参加費：20,000円 但し，日本病理学会会員は無料  
 連絡先：札幌医科大学第一病理 CGGH事務局 鳥越俊彦

〒060-8556 札幌市中央区南1条17丁目  
 TEL 011-611-2111（内線2691）  
 FAX 011-643-2310  
 E-mail: CGGH@sapmed.ac.jp

## 10. 日本医学会より

日本医学会への加盟申請についての公示  
 平成13年5月15日  
 日本医学会

日本医学会への加盟申請については，日本医学会内規により下記のとおり公示する。

### 記

1. 加盟申請書受付期間  
 自 平成13年5月15日  
 至 平成13年7月31日
2. 加盟申請書には，概ね，下記の事項を記載または添付する。
  - (1) 目的・沿革（学会設立年，歴史的経緯等）
  - (2) 分科会としての独自性・存在の必要性（国内の他学会との関係・関連分野の学会名）
  - (3) 会員構成
    - ・会員総数
    - ・会員構成（医師，非医師の会員数，役員における医師・非医師の構成比率）
    - ・学会への会員入会資格
  - (4) 学術集会（年間開催数，参加者概数）
  - (5) 機関誌（英文誌・和文誌の最近5年間の年間発行回数，総頁数，発行部数）ならびに査読制度の有無
  - (6) 国際性（国際学術集会の主催経験，国際学会との関連（支部等になっているか），欧文機関誌の発行等）
  - (7) 学会の運営状況（経理，役員構成）
  - (8) 定款または会則
  - (9) 役員名簿
  - (10) その他参考となる事項

3. 加盟申請審査・決定時期（予定）  
 新規加盟審査委員会で審議の上，平成14年2月開催の日本医学会定例評議員会において審査決定する。ちなみに平成12年度は1学会のみであった。

4. 申請書類  
 申請書は，下記のとおり日本医学会事務局に返信用封筒（角2封筒に160円切手貼付）を添えて請求のこと。

[日本医学会]

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
 日本医師会館内  
 TEL 03-3946-2121(代) 内線3241～2

# 日本医学会だより

JAMS News

2001年5月 No.25

日本医学会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
日本医師会館内 TEL 03-3946-2121(代)

## 第68回日本医学会定例評議員会

第68回評議員会が平成13年2月27日に開催され、冒頭、森医学会長は次のように挨拶した。「日本医学会は学問一途、研究・教育一筋というのが基本的な姿勢であると理解しているが、他方、世の中から隔絶した存在でもありえない。

たとえば医学用語は本来、どちらかといえば研究者、医師など専門家のみが用いるものと考えられていた。しかし最近では、文部科学省からの指導もあり、マスコミとか一般の社会人の要求も容れて、いわば国定版の医学用語集を日本医学会主導で出版してほしいという要望がある。

また訴訟問題に関連して、全く公正中立の立場にたった鑑定人とか証人を選ぶにあたり、日本医学会にその役目の重要な一部を担ってほしいと求められている。

認定医・専門医制度も、役所としては国民にわかりやすいものにしたと望み、そのためには、日本医学会が中心になって、できるだけ明快、かつ標準化されたものにしてほしいといわれている。

これらもろもろのことを考えると、日本医学会の存在は、もはや社会一般と切り離すことはできず、それ相応の務めを世の中に対して果たさなくてはならないであろう」

## 第26回日本医学会総会

第26回日本医学会総会（会頭：杉岡洋一九

州大学総長、会期：2003年4月4日～6日、福岡）は、「人間科学 日本から世界へ—21世紀を拓く医学と医療 信頼と豊かさを求めて—」をメインテーマに、次のとおり準備を進めている。

学術プログラムは、以下の大項目を決定した。

1. 脳と神経, 2. 心臓と血管, 3. 血液と免疫, 4. 癌, 5. 発生分化・生殖医療, 6. 高齢化社会と医療—加齢と老化, 7. ゲノム医科学, 8. 細胞内情報伝達・分子細胞医学, 9. 感染症, 10. 医薬と薬理と創薬, 11. 注目される病因・病態と疾患, 12. 検査と診断, 13. 治療の最前線, 14. プライマリ・ケア, 15. 緩和医療(Careを含める), 16. 再生医学・移植医療, 17. 精神医学, 18. ロボティクス, 遠隔医療, 19. ナノテクノロジーと医療, 20. 環境と健康, 21. 地域医療と保健行政, 22. 看護とチーム医療, 23. 社会保障と医療経済, 24. 生命倫理, 25. 歯学, 26. 国際医療協力, 27. 医学・医療と教育, 28. IT時代の医療情報, 29. 遺伝子診断・遺伝子治療, 30. リスクマネージメント, 31. 医学史, 32. 人間科学, 33. アジア地域の医学と医療, 34. 獣医学と医学の接点, 35. 緊急テーマ。

展示は、テーマを「社会が育てる医学と医療」とし、専門家向けの「学術展示」と市民向けの「公開展示」を企画している。とくに公開展示では医薬工業界の主導による「人間を科学する」、「支え合う暮らし」、「共生の社会へ」をスローガンとして採択した。会期は、2003年3月29日～4月7日。

### 第119回日本医学会シンポジウム

平成13年6月29日(金)10:00~17:00,日本医師会館において「がん転移研究の新しい展開—分子研究から臨床へ—」の課題でシンポジウムを開催する。組織委員は、今村正之(京大・腫瘍外科学),成宮周(京大・高次脳科学),曾根三郎(徳島大・内科学)の3氏。参加希望者は、日本医学会に郵便はがきで申し込まれた(参加費無料)。

プログラムの概要は下記のとおり。

#### I. 転移関連分子研究から創薬へ

1. 概説:転移浸潤のメカニズムとそれに関わる分子群/廣橋説雄(国立がんセンター研)
2. 新しいMMP制御因子RECKのがん転移および血管新生における役割/野田亮(京都大・分子腫瘍学)
3. 低分子量G蛋白質Rhoと転移・浸潤/成宮周(京都大・高次脳科学)
4. 腫瘍血管新生とプロスタグランジン/馬嶋正隆(北里大・薬理学)

#### II. 転移の生物学と実験動物モデル

5. 概説:がん転移モデルと臨床/曾根三郎(徳島大・内科学)
6. 肺がんの多臓器転移モデルと治療への応用/矢野聖二(徳島大・内科学)
7. 骨転移形成の分子機構/藤田直也(東京大・分子細胞生物学研)
8. 移植モデルを用いた大腸がんの悪性化機構と臨床/国安弘基(奈良医大がんセンター・腫瘍病理学)

#### III. 臨床的研究の展開—病態把握と治療法改善—

9. がん転移機構の臨床的研究/森正樹(九州大・生体防御医学研)
10. がん微小転移の臨床的意義/嶋田裕(京都大・腫瘍外科学)
11. Sentinel node navigationによるがん治療の個別化/北川雄光(慶應義塾大・外科学)

### 第3回日本医学会特別シンポジウム

第3回日本医学会特別シンポジウムは、廣重力北海道医療大学長を世話人として、「医とゲノム—21世紀のポストゲノム戦略—」と題し、2001年9月6~7日に、開催の予定である(会場:札幌プリンスホテル国際館パミール)。

### 日本医学会の加盟申請

平成13年度の新規加盟申請に関する公示は、5月15日に行い、7月31日に締め切る。申請書は、日本医学会あて請求されたい。

### 医学賞・医学研究助成費

平成13年度医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を5月上旬に行う。詳細は、本会に問い合わせられたい。

医学賞の要項は、1.日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげたものに授与する。2.毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与する(副賞は1名500万円)。

医学研究助成費の要項は、1.日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与する。2.毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ15件に授与する(1件150万円)。

### 医学用語管理事業

この度、医学用語管理委員会が編集を行っていた「日本医学会医学用語辞典—英和—」第2版が、1月に刊行された。

今秋には、日本医学会との共編で、文部省「学術用語集 医学編」が出版される予定である。

### 情報発信

日本医学会のホームページを平成12年10月に開設した。各分科会の協力を得て、本会のホームページから分科会ホームページにリンクできることになっている。

本会のアドレスは、下記のとおりである。

<http://www.med.or.jp/jams/>